

地域インターンシップ・プログラム（LIP）の概要

■ 趣旨

この事業は、和歌山大学観光学部に在籍する学生を研修生として地域へ派遣し、本学部の学生が地域の方々との交流を図りながら、地域における観光振興および地域再生の実践を現場で学ぶことを目的とする教育プログラムです。

■ プログラムの仕組み

地方公共団体等、地域の側から、学生が地域再生や観光振興の現場を体験できるインターンシップ・プログラムをご提案ください。

各地域よりいただいたご提案については、学部としてプログラムに参加する学生の募集を行います。学生の応募があり、実施が可能であると判断されたプログラムを、当該年度実施するプログラムとして認定させていただき、担当教員を配置します。

プログラムをご提案いただいても、学生の応募が定員に大幅に満たない場合や、予算が確保できない場合には、実施に至らないことがあります。また、プログラム運営の都合上、同一地域からの複数のプログラム提案はお受けできない場合があります。

■ インターンシップ・プログラムの要件

地域インターンシップ・プログラム（以下 LIP）は、上記の趣旨を踏まえ、学生が、「地域の方々との交流を図りながら、観光振興や地域再生の実践を現場で学ぶ」ことができる内容を含むことを要件とします。

■ 実施期間

学生の授業に支障のない期間での実施を原則とします。

実施時期としては、夏季休暇（8月下旬～9月末）がもっともまとまって時間をとることができます。

■ 実施時間

実施時間については、2～3日が目安ですが、プログラムの内容によって柔軟に対応可能です。

学生には、プログラムの参加に対して単位を認定しますので、プログラム参加のための事前事後学習の時間を含め、トータルで30時間以上を確保する必要があります。事前事後学習については学内での実施も可能であり、事前事後学習と現地での諸活動との時間配分については、プログラム担当教員と地域との協議において確定することになります。

■ インターンシップ・プログラムの費用負担について

プログラムの実施には、学生の交通費および現地での活動に係る諸経費が発生します。プログラムをご提案いただく際に、こうした費用負担が可能であるかをご検討ください。同行する担当教員の交通費・宿泊費・謝金等については、ご負担いただく必要はありません。

予算捻出に困難を伴う場合には、観光学部より予算措置を行うことができます。プログラムに対する学生の応募状況に鑑み、予算配分を行います。なお、学部予算には限りがありますので、地域で費用をご負担いただいた方が、プログラムの実施可能性は高くなります。(学部予算は、学生の交通費や宿泊費、学生の活動に関わって発生する諸経費にのみ利用可能である点ご了承下さい。)

■ 担当教員の役割

地域からご提案いただいたプログラムには、プログラム実施の調整と学生の監督を行うために少なくとも1名の担当教員を配置します。報告書の作成等結果のまとめやご報告については学生主体で行うこととなります。担当教員はこれらを支援しますが、必ずしもプログラムの内容に精通した者であるとは限りませんので、ご了承下さい。

■ 提案方法

年に1度の公募を行います。本年度のプログラム提案をお考えの場合は、提案用紙をご提出いただく前に一度、観光教実践教育サポートオフィスまでお問い合わせ下さい。プログラムの趣旨や提案要旨の記入方法についてご説明させていただくとともに、具体的な活動に関するご相談も承ります。提案書の記載内容が不十分な場合には、提案書の受理を次年度以降とさせていただく場合がございますので、ご了承ください。

同封の提案用紙は必要事項を記入いただいたのち、下記宛先までメール、FAX、郵送、いずれかにてお送り下さい。なお、提案用紙ご提出の締切り日は**4月13日(金)**となっております。

なお、電子データ(word形式)もご用意しております。ご希望の際は、下記の観光実践教育サポートオフィス (Email : tourism-er@center.wakayama-u.ac.jp) までご連絡下さい。

実施プロセス	
2018年4月13日(金)	地域からの提案・応募の締切り 学生の学内募集開始
2018年5月中旬 ～2019年1月末	実施プログラムの決定と地域への通知 観光学部予算の配分(必要に応じて) 実施に向けて担当教員を介し地域との協議開始～順次プログラム実施へ
2019年2月初旬	単位認定のための報告書類の作成と提出
2019年3月末	2018年度プログラムの終了

■ LIPに関する問い合わせ先および書類提出先

(※ 書類提出時には、宛先および件名等のいずれかに「LIP」と明記ください。)

- 和歌山大学観光学部 観光実践教育サポートオフィス 地域連携担当
電話/FAX 073-457-8553 Email tourism-er@center.wakayama-u.ac.jp

(参考資料) これまでの地域インターンシップ・プログラムの事例 (一部)

市町村名	テーマ (実施年度)
和歌山市	和歌山公園動物園の環境エンリッチメントを通じた観光活用
岩出市	観光地の活性化と情報発信
紀の川市	紀の川市地域活性化
かつらぎ町	かつらぎ町日帰りプランの作成
紀美野町	地区×学生による継続可能な地域活性化にむけた寄り添い型支援体制の構築と観光・交流情報発信
有田市	地元小学生が見つけた地域の資源に対する傾向・特性調査とその活用提案
広川町	津木地区寄合会の運営、特産品開発、情報発信、イベントを共に考える
有田川町	学生との協働による棚田保全活動体制の構築に関する基礎調査
日高川町	日高川町における祭事を中心とした伝統文化と地域活性化についての調査
由良町	観光地の新たな魅力発見
みなべ町	みなべ町の新たな魅力発掘・発信事業
田辺市	農山村ワーキングホリデーのシステム構築
那智勝浦町	地域の文化や風習、そこで暮らす人々と直にふれあいながら、これからの地域・自分・社会のあり方・つながり方を考える
串本町	マグロ料理で観光PR
太地町	地域資源として移民輩出の歴史を活かした観光の活性化を考える
大阪府岬町	マップを手にウォーキングをしたくなる気持ちを沸き立たせる「まち歩きマップ」の作成
大阪府熊取町	第6回熊取ふれあい農業祭